

平成 27 年度

事業計画・収支予算

総括

社会福祉法人 健美会

地域密着型特別養護老人ホーム ふる里えにわ

■事業計画総括

(計画)

1、基本方針

「収入の増加」

- 1) 空室率への対策
- 2) 入院者の減少対策
- 3) 報酬減対策

①経費削減 ②加算取得 ③暖房費徴収

2. 運営方針

2-1 事務管理部 (施設長・相談員・栄養士・清掃員・警備)

経費削減、経営の見直し及び改善

業務の効率化、帳票類の整備、各種委員会開催

介護報酬改正に係る変更事務

集客に向けた広報営業活動

2-2 入所部 1階こぶし・2階さくら

介護サービスの標準化、支援環境整備、サービスの質の向上

記録の充実化、職員連携の強化、マニュアルの作成、教育体制の確立

現場指導体制を構築し現場ルール及び情報共有の徹底

2-3 短期入所部 いちょう

受け入れ態勢の強化、

リピーターファン作り

(総括)

■年度別利用実績 (表1)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年
こぶし 年 6935 人 (延) 定員 19 名	94% 6558/6935 17.9 人/日	91% 6370/6935 17.4 人/日	93% 6495/6935 17.7 人/日	⇒96% 18.2 人/日
さくら 年 3650 人 (延) 定員 10 名	98% 3641/3650 9.97 人/日	99% 3648/3650 9.99 人/日	98% 3598/3650 8.8 人/日	⇒98% 9.6 人/日
いちょう 年 2920 人 (延) 定員 8 名	31% 913/2920 76 人/月 2.5 人/日	25% 742/2920 61 人/月 2.0 人/日	49% 1444/2920 120 人/月 4 人/日	⇒70% 170 人/月 5.6 人/日

◎1階こぶし利用者の長期入院、死亡が重なる。

◎2階さくら利用者について、年末に長期入院、死亡が重なる。

◎ショートステイ利用者増加するも目標達成ならず。

※利用率は最大利用延数で利用した人数を割った数字。

■年度別収入実績（表2）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年予算
介護保険収入	119,055,364	118,571,522	127,015,836	136,840,000
平成28年度は、人件費6割とした場合（136,833,333円）の収入が必要				

◎平成27年度介護報酬改定により年600万円の減収見込予定だったが、
8,444,314円（月額約70万円）の増収となった。

要因：①要介護度の上昇（H25年度2.4→H26年度3.11→H27年度3.20）

②ショートステイ収入の増加

③千歳市短期入所事業所の休止

■年度別支出実績（表3）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年 （予算）
人件費・事業費・事務費	115,292,015	119,143,874	123,756,297	127,566,000
内) 人件費 （収入に対する比率）	73,881,063 (62%)	76,942,636 (65%)	81,475,159 (64%)	82,100,000 (60%)

◎収入の増加に伴い他経費も増加

◎人件費について 収入が上がれば比率は60%に近づけられる。

◎平成28年度においても人件費の高騰は避けられない。

◎人件費比率6割保持のためには、収入を136,833,333円以上にしなければならない。（表2参照）

要因：①収入の増加に伴い他経費も増加（給食費・オムツ）

②電気代高騰（水道光熱費対比表）

③離職対策での正規職員登用

■水道光熱費実績

別紙 水道光熱費対比表 参照

※電気代は高騰しているものの、使用量は下がっている。

職員に経費削減努力意識が芽生え育っている。

※平成26年度使用量：227,267kwh（1kwh18.7円）

⇒平成27年度使用量：202,592kwh（1kwh21円）

※平成27年12月25日複合機切り替えにより月額約18000円の削減効果

※平成28年2月4日主要電気部のLED電球蛍光管切替により月額5000円程度の効果

（計画）

3. 改善

3-1 サービス体制の見直し、体制強化

3-2 各種委員会・会議の実施

3-3 地域社会との交流

3-4 研修機会の創出

3-5 仕入れ業者との取引条件の見直し及び経費削減

（内容）

- 3-1: マニュアルの整備、各シフト勤務内容の見直し
- 3-2: 事故防止委員会・感染防止委員会等の活動
- 3-3: 町内会活動の参加
- 3-4: 研修機会の創出及び人材育成（処遇改善加算要件対応）
- 3-5: 経費削減

4. 委員会

- ①職員会議（1/3ヶ月）
- ②幹部会議（1/月）
- ③給食会議（1/月）
- ④朝礼（毎日）
- ⑤虐待防止委員会（1/3ヶ月）
- ⑥事故防止・感染防止委員会（1/3ヶ月）
- ⑦運営推進会議（1/2ヶ月）
- ⑧入所判定委員会（1/4ヶ月）
- ⑨苦情解決委員会（必要時）

5. 年間行事計画

- ①週間予定表の作成及び実施
- ②誕生会（入居者の誕生日に実施）
- ③施設行事
 - ③-1 夏祭り（8月9日）
 - ③-2 花火大会（8月26日）
 - ③-2 敬老会（9月16日）
 - ③-3 もちつき（12月18日）
- ④各階行事
正月、節分、雛祭り、クリスマス会、他季節行事

6. 地域連携

- 近隣事業所との交流 収穫祭開催（9月）
- 運営推進会議開催（5月、7月、9月、11月、1月、3月）
- 町内会行事参加

7. 防災計画

- 火災避難訓練の実施 年2回開催 7月、12月 実施（内1回は夜間想定）

8. 広報

- ホームページ適時更新
- ブログ的自更新
- ふる里えにわ通信の発行
- 関係機関との「顔の見える関係」作りに着手

9. 職員研修

- 外部研修への参加
- 社内研修の企画立案、実施
- 基本サービスの理解強化

★暖房費の別途徴収

★加算取得…看護体制加算の新規取得 現行看護師はパート3名体制となっており、今後常勤1名、

非常勤1名での体制として内容充実を図っていく。

…処遇改善加算現行2.5%を5.9%にすることにより減収による賞与資金への補填を行う事により職員意識意欲の維持を図る

★夜間警備の廃止…法改正による

(総括)

体制強化をはかるが介護マンパワー不足により、中間管理職の日中における不在時間が改善されない。各種委員会活動も効果的な活動には至っていない。

経費削減は日頃より意識高め効果が出ている。

職員のサービスの質の向上について、介護技術力、施設内伝達力等向上させていかななくてはならない。重大な事故につながった事故は無いが、服薬関連事故が多発し改善が急務となっている。

個々の職員レベルの底上げが必要となっている。

暖房費の別途徴収については、市より徴収不可との判断により実行せず。

各種加算について、必要要件を満たすことができず、(介護福祉士50%以上採用、正規看護師の採用)取得に至らず、収入に影響を与えることとなった。

なお、夜間警備(4人)を廃止し、日中勤務に切替済み(現在1名、月間36時間勤務)。

◎事業内容実績報告参照

■平成27年度決算書説明

別紙 年度別事業活動計算書参照

別紙 月別実績一覧表参照